

市議会だより

第45号

平成27年(2015)4月15日発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより
編集委員会

〒389-2292

長野県飯山市大字飯山1110-1

電話：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

ホームページアドレス

<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>

E-mail:gikai@city.iiyama.nagano.jp

3月定例会概要

平成27年3月定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で行いました。

今定例会では、平成27年度一般会計予算(総額144億8000万円)、特別会計・水道事業会計予算(総額85億3930万円)の予算案13件、平成26年度一般会計補正予算(総額1億4571万1000円の減額)、特別会計・水道事業会計補正予算(総額4735万8000円の減額)の補正予算案12件、条例案15件、指定管理者の指定についてなどの事件案7件、人事案4件の合計51議案が市長から提案されました。また、議会運営委員会から条例案1件が提案されました。

3月4日から6日の一般質問では、13名の議員が登壇し、9日、12日に予算決算常任委員会、16日には総務文教、産業民生常任委員会、それぞれ付託された議案について審査しました。

最終日19日の委員長報告、採決では、提案された議案について、すべて原案のとおり可決、同意しました。

委員会審査

各常任委員会において議案審査が行われました。

予算決算常任委員会に付託された議案は、予算案13件、補正予算案12件でした。審査結果は、議案第5号「平成27年度飯山市一般会計予算」は賛成多数で、その他の議案については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務文教常任委員会に付託された議案は、「飯山市行政手続条例の一部を改正する条例」など12議案でした。審査結果は、すべて全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業民生常任委員会に付託された議案は、「飯山市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例」など10議案でした。審査結果は、議案第39号「飯山市介護保険条例の一部を改正する条例」、議案第40号「飯山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等」の一部を改正する条例」は賛成多数で、その他の議案については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

国道旧道区間の

移管について



渋川芳三議員

◆飯山の魅力の発信について

【質問】魅力発信の考え方は。

【答弁】最近では個人が発信媒体となるものが多くなり、発信体制の強化も重要と考えている。

【質問】市役所の女性や若い職員が知恵を出しやすくする環境を整えてほしい。

【答弁】色々とアイデアを出して仕事を進めることは大切。若手・女性の意見をしっかりと受け止めた。

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

【質問】総合戦略の策定をどのように考えているのか。

【答弁】関係者による総合戦略策定会議で10月までにはある程度まとまったものを作りたい。

【質問】会議立ち上げの時期は。

【答弁】これから人選を進め、遅くとも5月頃には立ち上げていく。

【質問】人口ビジョンの期間は45年後の2060年を基本とすることとされているが、飯山市はどうか。

【答弁】具体的にはまだ決めていない。



市道移管される国道117号

一般質問

*一般質問の内容は要約してあります。

水害常襲地域に暮らす

住民の悲願



市川久芳議員

◆「千曲川の氾濫の危機」から市民をどう守るかについて

【質問】私が30数年の歳月をかけて訴え続けてきた課題であるが、問題は飯山市長が会長を務めている「千曲川・信濃川直轄河川編入連絡協議会」で20年も取り組んでいるが実現できていないのは熱意がないからだと考えている。直轄編入を急ぐのは、国が河川法に基づいて湯滝温泉から上流に今後30年間で9百億円もの事業費が投下されると、そのリスクを飯山市民が背負うようになるからである。解決策は、下流の下境、桑名川の築堤の早期完成を図るため国の直轄河川に編入することである。そして、悲願である本格的な「湯滝の浚せつ」の早期着工である。かつて小野沢元市長がいくども東京へ出向き、歴代の総理に頭を下げたと同じように国土交通大臣の所、霞ヶ関、永田町へとんで行って頭を下げていただきたい。

【答弁】国土交通大臣の所へ要請にとの話だが、関係する市町村と連携し、同盟会を通じて要請していく。また、県議会でもこの問題は取り上げられており、県とも連携し強く要請していきたい。



昭和57年9月 千曲川の増水により決壊5分前の樽川堤防

◆一般職員の給与等について

【質問】中野市、飯山市がホームページで公開している「〇〇市の給与と定員管理について」を検索すると一般職員の平均給与は飯山市579万円、中野市535万3千円、飯山市579万円の方が高い。また、市民税を納めている市民の所得との較差は県下77市町村の中で最大である。市長の考え方は。

【答弁】中野市も飯山市も人事院勧告に基づく、同じ行政職俸給表を使用している。国家公務員の給与水準を元に同一条件で比較したラスパイレズ指数は飯山市の方が低い。中野市との差は、平均年齢の違い、年齢構成の違いによるものである。市民税所得の平均額と職員給与の平均額を単純に比べることは妥当ではない。多様な産業構造、年齢構成、高齢化率の違いを考慮する必要がある。

活力あるまちづくりへ



高山恒夫議員

◆地方創生

【質問】人口減少の歯止めと東京一極集中の是正に「地方創生法」が国会で成立した。各市町村での総合戦略策定に、国から官僚などを派遣する「地方創生人材支援制度」も設けられている。活用すべきではないか。

【答弁】総合戦略計画は、これからの展望をつくっていくことであり外からの視点も重要である。国からの支援制度を積極的に活用しながら進めていきたい。

◆地区活性化センター

【質問】市行財政健全化プランでは活性化センターの業務および組織体制の見直しとある。どのように進めていくのか。

【答弁】このプランに沿って、活性化センター職員の嘱託職員化を検討していく。現在の2名体制を堅持しながら地域の主体的活動の強化に向け地元合意を進めたい。

◆外郭団体への職員派遣

【質問】より専門的分野の施策推進のためには、プロパー職員の育成強化であり、現在行われている観光局、社協への職員派遣は見直す



愛情一杯の菜の花でお出迎え
・・・新飯山駅

常盤豚舎付近の 除雪について



飯田健一議員

【質問】昨年の12月14日(日)の大雪の朝、常盤の豚舎が1棟倒壊しました。豚舎の経営者の方から話を聞きました。その日の朝6時半大倉崎豚舎入口に着いたが、豚舎への道はまだ除雪されてなく、7時半再度来てみたが、同じく除雪はま

路でもあります。新しいタイヤドーザーをこの路線に配備し、遅くとも7時頃には除雪が終わるよう配慮すべきだと思いますがいかがですか。

【答弁】当日は90㍻と異常降雪であつたため、除雪が遅れご迷惑をおかけした。できるだけ早く終わらせるよう配慮したい。重機はメンテナンスをしつかりして、順次更新をしていきたい。



雪で倒壊した豚舎

はされてなかったそうです。聞くところによれば、10年ほど前、豚舎があるこの路線に、新しいタイヤドーザーが配備される予定だったが、実際には別の古いものが配備された。古いだけあつて力がなく仕事が遅いと、オペレータ等から聞きました。また、大倉崎の東西の道いわゆる縦道の除雪が終わるのは7時を回ることが多く、土日は特にそうだと住民の人から聞きました。豚舎が倒壊した原因がすべて、市の除雪の遅れのせいかどうかわかりませんが、この道路は地域の人たちもよく利用する生活道

飯山赤十字病院の 医師不足対策を進めよ



江沢岸生議員

【質問】院長はじめ医師・看護師等の献身的な努力に敬意を表し、質問する。飯山赤十字病院の「医師不足の最新状況」、「医師不足対策の最新状況」、「財務状況」を市役所はどう承知しているか。

【答弁】1月末現在、常勤医師23名、非常勤医師14名。3月末には内科医師1名退職、4月から麻酔科医師1名着任。年々1名、2名と減っており、院内に、2月に医師確保チームを作ったと聞いている。また財務は、ここ数年赤字が続いており、たいへん厳しい状況と聞いている。

【質問】飯山市役所は、飯山赤十字病院の医師不足対策についてどう取り組んでいるか。

【答弁】現在、信州大学病院を訪問すべく院長に日程調整していた。また、医学生奨学金について、なかなか利用者が出ず、平成27年中に減免条件等を見直したい。医師研究資金貸与についても、内容・条件について見直したい。

【質問】京都の福知山病院は医師の『研修』に力を入れることで、



飯山赤十字病院で撮影

2008年以降大幅に医師数を増やした。市が研修医の、特に研修2年目にある1か月の『地域医療研修』の宿泊費、食費、交流費などをもつなど支援すべきではないか。

【答弁】たいへん参考になる話だ。飯山赤十字病院とよく連携していきたい。

教育とエネルギー地産池消 は飯山を変えるか



松本淳一議員

◆飯山市の学校教育について

【質問】教育委員会制度が新しくなるが、新委員会に何を望むか。

【答弁】次世代を担う人材として考える力、体力、コミュニケーション能力を身につける教育を目指してほしい。

【質問】岡山小学校統合の動きの現状と内容を教えてほしい。

【答弁】適正規模検討委員会の答申を得て、27年度に統合準備委員会を立ち上げ、地域の不安を解消しながら準備していく。



戸狩小学校 朝スキーの様子

【質問】小学校のクラスの適正な規模はいくらか。また他の学校の統

合はどうか。

【答弁】15〜20人が適正との考えもあるが、『複式学級にならない規模』も考えられる。他校の統合は現在考えていない。

【質問】27年度予算にあるICT教育推進事業の内容を教えてください。

【答弁】まず、小学校1校にタブレットを導入し活用する。教員の準備、指導法の研究を進めている。

【質問】地元高校を支援するため飯山市からの予算援助は可能か。

【答弁】現在、直接支援は行っていないが、検討できる課題ととらえている。

◆自然エネルギー活用事業とは

【質問】どんな事業か。木質バイオマス利用はどうか。

【答弁】小水力発電の可能性を調査している。木質バイオマスはペレットストーブに使われている。

◆組織改正について

【質問】新設されるマーケティング係の目的は何か。

【答弁】農産物の販売ルートの開拓、食産業との連携などにあたる。

子育て支援について



渡辺美智子議員

【質問】標準保育時間と短時間保育時間に分けられるが、延長保育時間はどうか。土曜日の保育時間は。

【答弁】保育時間は7時30分から19時になる。標準保育では7時30分から18時30分、短時間保育は8時30分から16時30分になる。これからはみ出した分が延長保育時間になる。土曜日は平日と同じ。

【質問】新制度の申し込み状況は。

【答弁】1歳児保育6名(途中入所希望13名)、延長保育毎日13名、児童クラブ179名。



友達と一緒に

【質問】保育料の算定はどうか。

【答弁】4月から国の制度で所得税額から市民税額へ基準が変わる。

階層区分を8段階から16段階に細分化し、負担軽減を図る。

【質問】県は医療費の無料を入院で中学卒業まで引き上げる。これによる市の負担減はどれくらいか。

【答弁】25年度で73万円減になる。

【質問】その条件を生かして県内で51町村で実施している高校卒業まで医療費の無料を拡充できないか。

【答弁】どれくらいかかるか今後研究、検討していく。

【質問】第6期介護保険事業計画において介護保険料が基準額350円アップの5700円になる。これは全国平均5000円、また長野県平均5538円と比べて高い。19市で比べるとどうか。

【答弁】現時点では未公表でわからない。

【質問】介護保険の要支援者を28年度から地域総合事業に移行するようになると通所介護や訪問介護はどうなるか。

【答弁】ケアセンター湯の入、デイサービスセンターの活用、有償ボランティアアスマイルとうど等を組み合わせ提供するようになる。

長峰運動公園について



石田克男議員

①雨水処理と水路改修について

【質問】針尾池の周辺に、野球場やプール、多目的運動場など多くの施設が整備された。そこに降るほとんどの雨水が池に流れ込む。しかし池から流れ出る用水路が傷み困っている。何とか市で改修していただけないか。

【答弁】整備された区域に降った雨水の約80％が池に流れ込む。多面的機能支払交付金を使って改修できないか。

【質問】交付金は田んぼの水路改修で池の水路まで回らない。今、市と針尾用水組合とは持ちつ持たれつだと思ふ。考えてもらいたい。



春の針尾池（長峰運動公園）

【答弁】用水組合と話し合う。

②公衆トイレについて

【質問】長峰運動公園にある公衆トイレが汚い、と子どもたちが行きがたがない。もう少しきれいにしないか。

【答弁】掃除は体育協会にお願いしてある。もう少し様子をみたり、使用方法など張り紙をしたり、利用者にも清潔なトイレ使用を進める。

◆飯水小学校スキー大会について

【質問】最近、飯水小学校スキー大会では、順位をつけたり、表彰をしない。なぜか。

【答弁】旧豊田村の小学校が参加しなくなった時に、この形態になった。それまでの各校の選抜から、5、6年生全員参加になって、体育授業の延長となり、楽しんでやっている。◆LD等通級教室について

【質問】県の新年度予算に「LD等通級教室の教員の数も増やす」と載っている。飯山教室にもお願いしてもらいたい。

【答弁】来年度予算に飯山教室は入っていない。今後也要望したい。

新幹線を活かした地域づくりについて



山崎一郎議員

【質問】新幹線開業に向け、今まで行政主導でハード事業を進めてきたが、開業メリットを引き出し効果を形にしなければならぬ今後

は、民間主導の形になるような行政の関わりが重要だが。

【答弁】指摘のとおり民と公の連携が最も重要で、民間のアイディアや企画力と行政が連携して、どのように地域の活性化を図るかが今後の重要なポイントであると考えている。

◆行財政改革について

【質問】職員の削減と組織の見直しを計画していることは大きなことだが、組織を変えても職員意識が変わらなければ効果は期待できない。嘱託・臨時を含めた人事評価と職員教育を実施すべきだ。

【答弁】たいへん重要なことで、職員の人事評価については現在試行中で、嘱託・臨時については所属長において実施をしている。これをベースにしっかり取り組みたい。

◆ふるさと寄付金について

【質問】厳しい財政状況にあつて多くの方から寄せられているふるさ



飯山駅開業を祝うみこし連

住宅リフォーム助成の経済効果について



竹井政志議員

【質問】4年間実施の住宅リフォーム助成事業をどう評価しているのか。また、商業の活性化を目的に住宅リフォームの商店版の取り組みをしている自治体もあるが検討の余地がないか。

【答弁】市民から要望も強くたいへん効果があった。住宅リフォームについてはプレミアム商品券の活用 of 枠を拡大して進めたい。商店街リフォームも商工業者のお話を聞きながら検討したい。

◆雇用促進住宅の駐車場料金等について

【質問】高すぎる駐車場料金について「下げる方向で」と答弁しているが、交渉はどこまで進展しているのか。また、袋小路解消の計画はどの段階まで進んでいるのか。

【答弁】市直営の方向で協議中。新年度直営になれば下げることが可能。道路は27年度設計予定。

◆道徳教育の教科化について

【質問】小中学校の「道徳」を「特別教科」にする学習指導要領改定案を発表。国が定める基準でつくる検定教科書を使い、国が定める



満蒙開拓と少年たち
アニメ映画「蒼い記憶」より

27年施政方針と予算編成について



小林喜美治議員

【質問】平成27年度施政方針と予算編成では、1点目に新幹線開業を生かした新しい飯山市づくり、2点目として若者が住み続けられる環境づくりとなっている。12月議会では地方における閉塞感の克服が課題との質問をした。施政方針にはどのように示されているのか。

【答弁】飯山市では30数年来の悲願であった新幹線の開業を迎え、27年度はその初年度となる。いままで豪雪地域であったが、3月14日で大きな風穴があくことになり、若者会議・新しい定住対策、これからの新しい経済対策も進め、これを転機に市民の意識改革も進めたい。

◆おもてなしの観点で公衆トイレの改修を

【質問】新幹線開業を生かすには飯山市を訪れた人がもう一度来てみたくなるような「おもてなし」が重要であると思う。気になっている点として、新年度予算では公衆トイレの改修が計画されている。どのような改修計画なのか。市内の公



改修が予定されている旧飯山駅
「雪と寺の町シンボル広場」の公衆トイレ

衆トイレの現状をみるとウォッシュレットの施設が一つもないのが現状ではないかと思う。隣の中野市では市内の公衆トイレ、公共施設の多くがウォッシュレットになっている。新幹線開業を生かしたまちづくりという観点とお越しいただいたみなさんの「おもてなし」という点でも、早期の改修が求められていると思うが。

【答弁】新年度の改修予定では、旧飯山駅「雪と寺の町シンボル広場」を予定している。内容は内装の改修などであるが、トイレについては提案があつたようにウォッシュレットを設置し観光の環境を整えたい。

希望あふれる飯山へ



西澤一彦議員

【質問】飯山にもかつて経験したことのない少子高齢化が到来。地域の産業をどのようにパワーアップさせ、人口を増加させるのか。

【答弁】総合戦略会議を開き、市民の意見も十分に聞き進めていきたい。具体的に言えば地域の資源を活用。例えば雪なども地元の人はたいへんだと考えることがあるが、都会の方でたいへん感動される方もいる。ひとつの例えだがこのようなくとも経済面へ結びつけたらと思う。

【質問】島根県海士町（人口2400人）には、外からのやる気あふれた若者が240人も移住し、海産物産業を起こし全国的にも注目されている。見習うべき点は多々あると思うが。

【答弁】参考にし、飯山は飯山の進むべき道を考えたい。必要があれば交流も視野に入れる。

【質問】町中のにぎわいが重要。飯山の歴史物語を作り、しかるべき場所です。かたりべさんにより話していただく。このようなことが重要ではないか。

【答弁】町中のにぎわいについて有効だと思う。検討していく。

【質問】大雪のためか、除雪に対し苦情があつた。

【答弁】除雪会議等できめ細かい対応を徹底していく。

【質問】飯山にはさまざまな福祉施設があるが、市民への浸透が薄いと思う。わかりやすくまとめたものがほしい。

【答弁】わかりやすくまとめ、広報していきたい。



飯山市地域活動支援センター「雁木ぶらざ」

防災の観点について



荻原洋平議員

【質問】飯山市では昨年1年間に移住された方は何人いたか。

【答弁】26年度移住される予定者も含めて17世帯36名ということ。移住者は、おもに東京都、神奈川県、愛知県、石川県で、年代は18年以降で30代が4割となっている。

【質問】「住みたい、住み続けたい」と思える飯山市の構築は。

【答弁】「若者会議」には、Ｉターン者も多く参加しており、自分の仕事も始めている方もいるわけで、今後会議の中で皆さんの意見を吸いあげていきたい。

【質問】Ｉ、Ｕターン若年層の就労や定住にどのような支援をしていくのか。

【答弁】支援策として総合的なサポート、加えて保育の充実、小中学生の医療費の無料化、教育関係の充実で支援をしていく。雇用については新たに駅前に建設されるホテル側にも要望していく。

【質問】風景づくりにおいて、飯山の玄関口と思える景観計画は。

【答弁】第一印象が重要で、駅前広場中央に歩道を配し、小公園には

ブナを植栽する。今後建築物、植栽そういった景観に配慮された施設となるよう協議をしていく。

【質問】建設予定の9階建てホテルに火災が発生した場合、「安全、安心」のまちづくりを進めるに、高層建築に対する「はしご車」の常備が必要ではないか。



リゾートホテル建設予定の飯山駅前

【答弁】25階級の「はしご車」は、1億円以上で7年に1回のオーバーホールに3000万円かかり、職員も4名増員が必要ですぐに配備できない。高所作業車を持っている業者や近隣の消防署との連携で対応していきたい。

人事案

◇議案第52号 副市長の選任に関する同意を求めることについて

月岡 壽男 氏 《同意議決》

◇議案第53号 教育長の任命に関する同意を求めることについて

長瀬 哲 氏 《同意議決》

◇議案第54号 固定資産評価員の選任に関する同意を求めることについて

月岡 壽男 氏 《同意議決》

◇議案第55号 固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて

小林 和人 氏 《同意議決》

県へ要望書を提出！

特別豪雪地帯指定市町村議会協議会

全国でも特に積雪が多く、それに伴い冬期間、住民生活に著しい支障が生ずる地域として、国から特別豪雪地帯に指定された飯山市をはじめ県内10市町村の議会で構成する長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会（会長 佐藤正夫飯山市議会議長）では、雪害対策等の推進を図るため、各市町村から提出された懸案事項を、豪雪地帯の道路整備、災害復旧、雪に負けない地域づくりの3項目

に大別し、去る2月4日に阿部県知事や風間県議会議長に要望しました。

飯山市議会では、北陸新幹線飯山駅開業や信越自然郷として広域観光を推進していることを踏まえ、近隣市町村への交通網の整備を主として、その他自然落雪式屋根の改修工事への県の補助制度の対象拡大を切望しました。

本協議会は昭和56年に設立され、以降長野県豪雪対策促進議員連盟とも連携して活動し、最近では、住宅除雪支援員の補助単価の引き上げと対象範囲の拡大や屋根の融雪を行う克雪住宅へ助成する市町村への支援制度の創設といった成果につながるなど、豪雪地に暮らす住民の皆さまの安心安全な生活の確保に取り組んでいます。

議会構成

3月定例会で一部変更がありました。
(――― 変更部分)

◆議会運営委員会

◎久保田幸治 ○小林喜美治 江沢岸生 渋川芳三
高山恒夫 山崎一郎（正副議長はオブザーバー）

◆予算決算常任委員会

◎山崎一郎 ○石田克男
委員は議長を除く全議員（議長はオブザーバー）

◆総務文教常任委員会

◎高山恒夫 ○西澤一彦 荻原洋平 松本淳一
石田克男 山崎一郎 小林喜美治 佐藤正夫

◆産業民生常任委員会

◎渋川芳三 ○渡辺美智子 江沢岸生 飯田健一
市川久芳 竹井政志 久保田幸治 上松永林

◆北信広域連合議会議員（飯山市議会選出）

渡辺美智子 石田克男
久保田幸治 上松永林 佐藤正夫

◆岳北広域行政組合議会議員（飯山市議会選出）

荻原洋平 江沢岸生 渋川芳三 高山恒夫
久保田幸治 小林喜美治 上松永林 佐藤正夫

◆飯山市農業委員（議会推薦）

松本淳一 小林喜美治

議会改革検討委員会発足

平成27年3月、議会改革検討委員会が発足しました。

◎上松永林 ○渋川芳三
江沢岸生 高山恒夫 久保田幸治
山崎一郎 小林喜美治 佐藤正夫

さまざまな議会改革について取り組んでいきます。

編集後記

◇飯山市民はもとより、近隣自治体住民の悲願でありました北陸新幹線飯山駅が開業しました。新しい飯山市の歩みがこれから始まるこの思いが市民の皆さんの共通の思いであると思います。

3月定例会は、飯山市の新しい一歩を踏み出す平成27年度当初予算と施政方針を審議する重要な議会でした。一般質問では13名の議員がそれぞれの立場から質問を行い、新しい提案がいくつもありました。こうした内容をもっと多く掲載したいところですが、この議会だよりは紙面の関係から、ごく一部しか掲載することができませんが、各議員の思いの詰まったものであります。市民の皆さんのご要望に沿うべく、今後もよりよい内容となるよう努力して参りたいと思います。市民の皆さんのご意見、ご要望をお願い申し上げます。（小林 喜美治）

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

久保田幸治
小林喜美治
山崎一郎
高山恒夫
渋川芳三
上松永林
佐藤正夫